

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2018年9月13日～2018年9月19日)

平成 30 年 (2018 年) 9 月 21 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治 欧州司法評議会ネットワークによる全国裁判所評議会 (KRS) の資格停止 ドゥダ大統領, ラトビアを訪問 チャプトヴィチ外相, リトアニアを訪問 ポーランド, EU 法違反条項の除去手続における欧州委の理由付意見書に対する回答を送付 ブワシュチャク国防相, 米国を訪問 ドゥダ大統領及びモラヴィエツキ首相, ルーマニアを訪問 ドゥダ大統領, 米国を公式訪問 ポーランドに対する法の支配問題に関する意見聴取を実施 モラヴィエツキ首相, オーストリアを訪問</p>								
<p>治安等 国内治安機関による合同テロ対処訓練 警察, COP24 に備えカトヴィツェで対テロ訓練を実施 廃棄物違法投棄業者の摘発 当地におけるロシアの情報活動に関する特務機関調整大臣付報道官の発言 ヴロツワフ市内の露天で店員刺傷事件が発生 夜間のアルコール販売禁止の動き グダンスク港におけるテロ対処訓練 警察, ワルシャワで大規模違法薬物取引を摘発</p>								
<p>経済 金融政策委員会, 2019 年の戦略を発表 モラヴィエツキ首相, 三海域協カイニシアティブの重要性に言及 8 月のコア・インフレ率 8 月の雇用統計 ムーディーズ, ポーランドの GDP 成長率の見通しを上方修正 ユミコア社, 電池製造に係る工場を建設 5G 技術の開発 外国人労働者に関する調査結果 国営エネルギー企業 PGE 社, シンジケートローン契約を締結 ガス関連法の改正 容量市場メカニズムに係る動向 トフジェフスキ・エネルギー大臣, EU 排出権取引市場 (ETS) 取引価格の上昇に関し発言</p>								
<p>大使館からのお知らせ 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 平成 30 年度後期分教科書の配布に関する御案内 海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事 読者からのお知らせ</p>								
<p>在ポーランド日本国大使館 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>								

【お願い】3 か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

欧州司法評議会ネットワークによる全国裁判所評議会(KRS)の資格停止【18日】

18日、欧州司法評議会ネットワーク(注:EU加盟国の司法の独立に携わる国家機関で構成される機

関、ENCJ)は、ブカレストで開催された臨時総会にて、ポーランドの全国裁判所評議会(KRS)の同機関での資格停止につき投票を行い、賛成票が反対票を大きく上回り、資格停止が決定された。

外交・安全保障

ドゥダ大統領、ラトビアを訪問【13日】

13日、ドゥダ大統領はラトビアで開催されたアライオロス・グループ会合(EU加盟国で、国内での欧州問題に関する協議に行政面での影響力を有しない元首による会合)に出席し(ポーランド含め13か国から出席)、エネルギー問題における連帯の必要性を強調した他、コレイロ=プレカ・マルタ大統領等と二国間協議を行った。

チャプトヴィチ外相、リトアニアを訪問【13日】

13日、チャプトヴィチ外相はヴィリニウスを訪問し、リンケビチュウス外相と協議し、両国はノルドストリーム2ガスパイプライン計画に反対し、東欧における米軍のプレゼンス強化を支持すると述べた。

ポーランド、EU法違法条項の除去手続における欧州委の理由付意見書に対する回答を送付【14日】

14日、ポーランド政府は、最高裁法に関するEU法違法条項の除去手続の第二段階にあたる理由付意見書に対する回答を欧州委に送付し、同委が提起した最高裁法とEU法の合致に関する懸念には根拠がないと指摘した。

ブワシュチャク国防相、米国を訪問【14日】

14日、ブワシュチャク国防相は、ドゥダ大統領の訪米に先立ち米国を訪問し、米国軍事委員会に関連する複数の議員と協議をした。同国防相は、ポーランドと米国との軍事協力の強化及びポーランドにおける米軍の恒久的な基地の配備の必要性に関して同議員の同意を得た。

ドゥダ大統領及びモラヴィエツキ首相、ルーマニアを訪問【17-18日】

17日、ドゥダ大統領はブカレストを訪問し、三海域イニシアティブ(バルト海、アドリア海、黒海に面するEU加盟12か国間協力)首脳会合に出席し、三海基

金の設置等について協議した。18日は、訪米したドゥダ大統領に代わり、モラヴィエツキ首相が同会合に出席した。

ドゥダ大統領、米国を公式訪問【18日】

18日、ドゥダ大統領は、ポーランド大統領としては2010年のコモロフスキ大統領以来となる米国公式訪問を行い、トランプ大統領と会談した。両大統領は、現在の情勢に合わせて改訂された両国間の戦略的パートナーシップ「ポーランド・米国の戦略的パートナーシップによる自由の防衛及び繁栄の構築」に署名した。大統領府は、同文書は、今後に向けた新たな道筋を定めるものであり、軍事、エネルギー安全保障問題、幅広いビジネス分野、さらに三海域協カイニシアティブにおける協力を緊密化するものであると発表した。トランプ大統領は、両国の同盟関係が今ほど固いことはなかったと述べ、また、ポーランドがGDPの2%の額を国防、並びにNATOのアフガニスタン及び対ISILコアリッション任務支援に充てるとのNATOの義務の果たしたことに謝意を表明した。

ポーランドに対する法の支配問題に関する意見聴取を実施【18日】

18日、ブリュッセルで行われたEU総務理事会で、ポーランドの法の支配問題に関する意見聴取(EU条約第7条1項に基づく手続き;6月26日に次ぐ2度目)が行われ、出席したシマンスキ外務副大臣は、同評議会は、ポーランドに対し否定的な行動を採択する多数派がいるとの印象は受けなかった旨述べた。

モラヴィエツキ首相、オーストリアを訪問【19日】

19日、モラヴィエツキ首相はザルツブルクを訪問し、非公式欧州理事会(19~20日)に出席し、Brexit、移民・難民政策等について協議した他、ヴィシエグラード・グループ(V4)会合に出席した。

治 安 等

国内治安機関による合同テロ対処訓練【13日】

13日、警察及び公安庁(ABW)は、政府危機管理

センター(RCB)と合同で、テロ脅威への対処を目的とした大規模訓練「Fighter 2018」を実施した。今次訓

練はワルシャワ及びヴロツワフで実施され、有事の際の意思決定プロセス、情報共有、各機関が連携した効率的な部隊展開等の確認がなされた。ポーランドでは、対テロ法及び首相令に則り、国家危機管理計画が策定されており、脅威レベルに合わせて各機関の対処要領が規定されている。

警察、COP24に備えカトヴィツェで対テロ訓練を実施【15日】

15日、警察は、2018年12月に当地で開催されるCOP24に対するテロ攻撃を想定し、カトヴィツェで対テロ訓練を実施した。同訓練には警察の対テロ特殊部隊が参加し、有事の際の部隊展開、人質事件発生時の対応等について確認がなされた。

廃棄物違法投棄業者の摘発【17日】

17日、ウッチ県警は、同県のシエラツ近郊で、廃棄物の違法投棄を試みたとしてトラック運転手を拘束した。同事案は、容疑者が複数の大型トラックで約100トンの廃棄物を採石場に不法投棄しようとしたもので、警察は廃棄物の有毒性や出自に関して捜査を進めている。

当地におけるロシアの情報活動に関する特務機関調整大臣付報道官の発言【17日】

17日、当地の情報機関を統轄する特務機関調整大臣付のジャリン報道官はワルシャワ市内で開催されたサイバーセキュリティ関連の国際会議「Security Case Study 2018」で講演し、当地におけるロシアの情報活動について発言した。ジャリン報道官は、当地におけるロシアの情報活動は、主にエネルギー分野及び国防政策分野で活発に行われており、SNSを介し、自動的かつ頻繁に多くの偽情報が拡散されていると述べ、ロシアは偽情報を拡散することで相手の弱さを誇張し、自国の強大さをアピールすることを狙っているなどと指摘した。

ヴロツワフ市内の露天で店員刺傷事件が発生【17日】

17日夕方、ヴロツワフ市内北部の露天で、女性店員が突然男に刃物で刺され、重傷を負う事件が発生

した。防犯カメラの画像から容疑者は男性と判明しているが、現場から逃走しており、警察は容疑者の所在につながる情報に懸賞金を掛けるなどして捜査を進めている。

夜間のアルコール販売禁止の動き【17日】

当地では、夜間のアルコール販売を禁じる地方自治体が増加傾向にあり、既に、ヴロツワフ、ポズナン、ブワヴィ、スヴァウキ、ミエルノ、ジェロンカ等の自治体では、スーパーマーケットだけでなくガソリンスタンド等も含め、全面的に夜間のアルコール販売が禁じられている。同規制は小規模小売店が多いアルコール販売業者を圧迫しており、2016年ごろから廃業する業者も増加傾向にあるが、規制そのものは住民から歓迎されている。政府もアルコール依存症対策の一環として、2018年2月に、地方自治体のアルコール規制権限を強化する法改正を行った。

グダンスク港におけるテロ対処訓練【18日】

18日、国境警備隊、警察、グダンスク港管理局は、グダンスク港とスウェーデンを結ぶフェリーでテロ事件が発生したとの想定で、テロ対処訓練を実施した。同訓練では、テロリストの無力化に関する手順の確認等がなされた。

警察、ワルシャワで大規模違法薬物取引を摘発【19日】

ワルシャワ首都警察は、2018年3月頃から、検察と共同で、市内のヴィスワ川東岸地域での違法薬物取引に対する捜査を進めており、同地域に大規模な違法薬物取引ネットワークが存在していることが判明している。19日、警察は、特殊部隊を投入してユゼホフ及びウオミアンキで違法薬物貯蔵倉庫を摘発し、大量の大麻及び覚せい剤、銃火器及び弾薬、警察官バッジなどを押収したほか、ワヴェルでも覚せい剤精製工場を摘発した。警察は、同工場で押収したパソコンから、犯罪組織がビットコインを用いた決済で違法薬物の原材料を調達していた形跡を発見しており、ビットコイン決済の匿名性を利用して証拠隠滅を図っていたとみている。

経 済

経済政策

金融政策委員会、2019年の戦略を発表【18日】

金融政策委員会は2019年の戦略を発表した。同戦略は、物価の安定を主要目標とし、中央銀行の現行の金融政策の維持、緩やかな経済成長と金融制度の安定化支援についても掲げている。中期インフレ目標については、2.5%が維持される予定。

モラヴィエツキ首相、三海域協カイニシアティブの重要性に言及【19日】

モラヴィエツキ首相は、ブカレストで開催された三海域協カイニシアティブ首脳会合において、同事業はEUに巨大な利益をもたらす、欧州の地図を書き換えるものであり、中東欧諸国はEUの経済基

盤を強化するべく貢献しているとし、我々の目標は物理的な橋の建設のみならず、欧州の共通概念を作り上げることであると述べた。また、同首相は、地域に共通かつ自由なガス市場を整備するとともに、

に、独自のエネルギー輸送システムを構築する必要があると強調し、ガス市場の独占を加速させるものとしてノルドストリーム2計画を批判した。

マクロ経済動向・統計

8月のコア・インフレ率【14日】

ポーランド中央銀行によると、8月の食料価格とエネルギー価格を除いたコア・インフレ率は0.9%となった(7月は0.6%)。

8月の雇用統計【18日】

中央統計局(GUS)によれば、8月の平均賃金は4,798.27ズロチで、対前年同月比6.8%増、対前月比0.6%減となった。また、雇用者数は対前年同月比3.4%で、2016年12月以来最低の伸び率となった。専門家は、求人数は依然として伸びており、雇用の鈍化は労働者不足によるものと見ている。

ムーディーズ、ポーランドのGDP成長率の見通しを上方修正【19日】

格付け会社のムーディーズは、ポーランドのGD

P成長率の見通しを2018年は4.3%から5.0%へ、2019年は4.0%から4.2%へ上方修正した。また、財政赤字の見通しについては、2018年を対GDP比1.8%から1.4%へ、2019年を2.3%から1.7%へ下方修正した。2018年上半年期の経済成長率が当初予測よりも好調であったことや、同下半期についても、更なる成長が見込まれるとの景況感を踏まえてのものとされる。他方、中長期的には、労働市場の状況や人口動態、EUの次期中期予算枠組みにおいてポーランドへのEU基金の予算配分の削減が見込まれること等から、経済成長率は低下する見通しである。また、ムーディーズは、主要な財政指標の改善にも関わらず、ポーランドの構造的財政赤字の対GDP比は2%超となっており、ルーマニア、ハンガリーに続いて中東欧地域で第3位となっていると指摘した。

ポーランド産業動向

ユミコア社、電池製造に係る工場を建設【13日】

ベルギーの大手材料メーカーであるユミコア社は、13.8億ズロチ(3.2億ユーロ)を投じ、リチウムイオン電池の電極に関する新工場をポーランド南西部のニサに建設する。同工場は2020年末に稼働する見込みで、約400名の従業員の雇用が想定されている。なお、ユミコア社は2016年にポーランド南西部のノバルダに触媒工場を開設している。

5G技術の開発【13日】

当地の携帯電話事業者であるOrange Polska社は、中国の華為技術と共同で、5G通信技術に関する通信施設をグリヴィツェに建設した。同施設は、高周波帯の電波への高層ビルの影響等について評価する。Orange Polska社は、2020年に最初の5Gの商業アクセスポイントを開設することを計画している。

外国人労働者に関する調査結果【17日】

国際移住機関の調査によれば、ポーランドの外国人労働者の75%がポーランド国内の安全を実感している。また、同調査によると、93%の企業が外国人雇用に興味を持っているが、83%の企業は外国人雇用に係る複雑な手続きに不満を持っており、77%の企業が外国人雇用手続きに時間を要し、雇用できなかった経験があると回答した。

国営エネルギー企業PGE社、シンジケートローン契約を締結【19日】

国営エネルギー企業PGEグループは、ポーランドPKO銀行、サンタンデル・ポルスカ、MUFGBank(ヨーロッパ)等の銀行団と、41億ズロチ相当の融資契約を締結した。同融資は、2016年から2020年に掛けてのPGEグループの投資に係る資金調達を目的とするが、金融負債の借換えにも利用される可能性がある。なお、最終返済日は2022年12月16日に設定されている。

エネルギー・環境

ガス関連法の改正【13日】

エネルギー省は、現在のガス関連法がガス会社

の倒産を想定していないとして、ガス関連法の改正を検討している。具体的には、ガス会社がガスを

供給できなくなった場合には予約販売者がガス供給等に介入することを検討している。

容量市場メカニズムに係る動向【13日】

スコベル・エネルギー副大臣は、容量市場メカニズムに係る入札日程等を議会に提出した。初回入札は2018年11月15日に予定されており、2021年用となる。スコベル副大臣は、世界的に石炭価格が上昇する中、ロシアやウクライナから石炭を輸入することは自然であり、許容し得ると述べた。

トフジェフスキ・エネルギー大臣、EU排出権取引市場(ETS)取引価格の上昇に関し発言【14日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、EU排出権取引市場(ETS)における取引価格の上昇(ロンドン市場:1トン当たり25ユーロ程度)について、加盟国の大規模企業が将来を見越して事前に買い占めている可能性がある」と指摘し、欧州委員会に調査を求めると述べた。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、2017年もスペイン、フランス等で新たなテロが発生しており、本年も引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

2017年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

平成30年度後期分教科書の配布に関する御案内

在ポーランド日本国大使館では、ポーランド在住で平成30年3月末日までに大使館に「在留届」を提出している邦人子女を対象に、日本の小学生用の教科書(平成30年度後期分)を配布しています。後期分教科書は小学生用のみの配布となりますので、御注意ください。

御希望の方は『教科書申込書』を入手の上、該当事項を記入して、下記の申込先に送付してください。ワルシャワ日本人学校の児童、生徒(入学予定者を含む)については、同校を通じて配布いたしますので、申し込みの必要はありません。なお、教科書自体は無償ですが、郵送による受取りを希望される方については、大使館(ワルシャワ市)から「着払い」にて送付するため送料が発生します。あらかじめ御了承ください。

教科書申込書のリンク:<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho30.2semester.pdf>

申込先: cons@wr.mofa.go.jp (Eメールの場合)

22-696-5006 (FAXの場合)

ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa (郵送の場合)

海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について

海外に在留する邦人の子女への教育振興を目的に活動する公益財団法人・海外子女教育振興財団は、海外子女教育専門の教育相談員による教育相談を実施しているところ、この度、いじめに関しても相談を受け付けることとなりました。詳細については、下記にお問い合わせください。

問合せ先: 公益財団法人 海外子女教育振興財団 事業部 教育相談事業チーム

電話: 81-3-4330-1352 (受付時間: 月～金曜 10時～16時)

Eメール: soudanjigyol@joes.or.jp

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00, Eメール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】ピウスツキ兄弟：ペンと銃で独立へ【4月27日(金)～11月11日(日)】

ジョリ市にて、ジョリ市立博物館主催による『ピウスツキ兄弟：ペンと銃で独立へ』が開催中です。プロニスワフ・ピウスツキによるアイヌ研究にフォーカスしたピウスツキ兄弟に関するイベントです。アイヌ文化及び日ポ関係史を紹介した展覧会、ワークショップ、講演、パフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: ジョリ市 (シロンスキエ県), ジョリ市立博物館, ul. Muzealna 1/2

詳細: <http://muzeum.zory.pl/>

【開催中】展覧会「物の哀れ」【9月6日(木)～10月7日(日)】

タルヌフ市にて、タルヌフ市芸術展覧会場主催による『物の哀れ』が開催されます。葛飾北斎による浮世絵および日本芸術、特に物の哀れと浮世絵にインスピレーションされたポーランドアーティスト2人の作品が展覧中です。

開催場所:タルヌフ市 (マウオポルスカ県), タルヌフ市芸術展覧会場, ul. Słowackiego 1

詳細:<http://www.bwa.tarnow.pl/1,586,wystawy,mono-no-aware-.html>

【予定】日本ポップカルチャーイベント「アスコン2018」【9月22日(土)~23日(日) 10:00】

ホジュフ市にて、シレジア・ファンタジー協会主催による『日本ポップカルチャーイベント「アスコン2018」』が開催されます。日本文化に関する講演会, 知識コンクール, 遊び, コスプレ大会等が予定されています。

開催場所:ホジュフ市(シロンスキエ県), ul. Farna 5-7

詳細:<http://www.asucon.pl/>

【予定】波武道祭り2018 : 居合道セミナー【9月22日(土)~26日(水)】

ヴロツワフ市にて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による『居合道セミナー』が開催されます。

開催場所:ヴロツワフ市 (ドルノシロンスキエ県), ヴロツワフ大学体育館 ul. Przesmyckiego 10

詳細:<http://www.fundacja-nami.pl/>

【予定】第4回日本ポーランド刀剣の日【9月22日(土)9:00~19:30】

ワルシャワ市にて、ポーランド軍事博物館主催による『第4回日本ポーランド刀剣の日』が開催されます。武道デモンストレーション, 刀剣の展示会, 歴史再現グループのデモンストレーションや墨絵・折り紙ワークショップが予定されています。

開催場所: ワルシャワ, ポーランド軍事博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細:<http://www.muzeumwp.pl/>

【予定】「大使—文化」プロジェクト【9月22日(土)~29日(土)】

ワルシャワ市, ポズナン市, クラクフ市にて、プラツテアトラルニ基金主催による『大使—文化』が開催されます。このしたやみ演劇ユニットのポーランドツアーが開催されます。入場料: 有料。

ワルシャワ 22日・23日 19時 Instytut Teatralny im. Zbigniewa Raszewskiego, ul. Jazdów 1

ポズナン 25日・26日 19時 Teatr Nowy im. T. Łomnickiego, ul. Jana Dąbrowskiego 5

クラクフ 28日・29日 19時 Teatr Ludowy, ul. Osiedle Teatralne 34

詳細:http://placteatralny.eu/?page_id=1228

【予定】講演会: 日本におけるヨーロッパの100年(16-17世紀)【9月25日(火) 17:30】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、ワルシャワ大学日本学科グレニ氏による講演が開催されます(ポーランド語のみ)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加御希望の方は事前に御連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51(4階), Warszawa)

【予定】世界極真武道会(WKB)の第8回 Polish Open 2018【9月29日(土)】

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『世界極真武道会(WKB)の第8回 Polish Open 2018』が開催されます。

開催場所:レジャイスク市 (ポトカルパチエ県), ul. Skłodowskiej 6

詳細:<http://www.karate.lezajsk.pl/>

【予定】学会: 「数学における神経化学: 日本の算盤」【10月6日(土)11:00~17:15】

ウヅ市にて、スーパーマインドズアカデミー主催による『学会: 「数学における神経化学: 日本の算盤」』が開催されます。算盤に関する講演会や算盤大会・ワークショップなどが予定されています。

開催場所:ウヅ市 (ウヅ県), ウヅ大学, ul. Pomorska 171/173

詳細:<http://www.supermindsacademy.com>

〔予定〕文化祭：秋の日本芸術フェスティバル【10月6日(土)～7日(日)】

ワルシャワ市にて、チビワル主催による『文化祭：秋の日本芸術フェスティバル』が開催されます。日本文化に関する講演会、様々なワークショップ、コンサート等が予定されています。

開催場所：ワルシャワ市，PROM Kultury Saska Kępa, ul. Brukselska 23

詳細：<http://bunkasai.pl/bunkasai-2018/>

〔予定〕学会「美・遺産・コミュニケーション。ハルクロヴァ2018」【10月11日(木)】

ノヴィ・タルグ市にて、法王ヨハネ・パウロ2世大学及びノヴィ・タルグ市ポドハレ専門学校共催による『学会「美・遺産・コミュニケーション。ハルクロヴァ2018」』が開催されます。川田大使による講演「日本・ポーランドの友好関係史」等が予定されています。

開催場所：ノヴィ・タルグ市（マウオポルスカ県），ノヴィ・タルグ市ポドハレ専門学校，ul. Kokoszków 71

詳細：<http://www.ppwsz.edu.pl/ogolnopolska-konferencja-nauk-xi.html>

〔予定〕ポーランド空手連盟の第19回ポーランドオープンシニア・ジュニア極真空手選手権【10月20日(土) 9:00～19:00】

タルノフスキェ・グレイ市にて、タルノフスキェ・グレイスポーツクラブ「空手」主催による『ポーランド空手連盟の第19回ポーランドオープンシニア・ジュニア極真空手選手権』が開催されます。

開催場所：タルノフスキェ・グレイ市（シロンスク県），ul. Obwodnica 8

詳細：<http://www.tkskarate.pl>

〔予定〕第12回ワルシャワ大学日本祭【10月22日(月)～26日(金)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワ大学東洋学部日本学科主催による『第12回ワルシャワ大学日本祭』が開催されます。日本に関する講演会、生け花展・ワークショップ、書道展・ワークショップなどが予定されています。

開催場所：マゾフシェ県，ワルシャワ市，ワルシャワ大学図書館，316教室，ul. Dobra 56/66，ワルシャワ王宮，ul. Plac Zamkowy 4

詳細：<http://japonistyka.orient.uw.edu.pl/dni-japonii/>

読者からのお知らせ

〔開催中〕今は亡きポスターの巨匠展：亀倉雄策・田中一光・福田繁雄【6月28(木)～9月30日(日)】

ソポト市にて、世界的に活躍した三人の日本人グラフィックデザイナーの回顧展が開催中です。故亀倉雄策氏（1915-1997）の東京オリンピック1964のポスター（復刻版）、故田中一光氏（1930-2002）のモダンな能楽ポスター、故福田繁雄氏（1932-2009）のトリックアートなど、記念碑的な作品の数々が展示されています。いずれもワルシャワ国際ポスタービエンナーレでの受賞や国際審査員の仕事を通して日ポの交流に貢献されました。

開催場所：ソポト市，国立美術ギャラリー，Plac Zdrojowy 2

詳細：

<http://www.pgs.pl/wpisy/wielcy-nieobecni-swiatowego-plakatu-yusaku-kamekura-ikko-tanaka-shigeo-fukuda>

フェイスブックのイベント情報：<https://www.facebook.com/events/294585957745370/>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス(newsmail@wr.mofa.go.jp)